

## 令和4年度事業報告

### I 概要

令和4年度も従来業務である請負・委任のほか、派遣事業の推進と会員獲得に取り組んできた。新型コロナウイルス感染症は、市内でも減少傾向が見られたが、物価上昇などによる景気の持ち直しが進まず、仕事の受注や会員獲得に影響が出た大変厳しい一年となった。

### II 事業報告

#### 1. 会員の増強

会員募集については、市広報誌へ掲載、チラシの配布などのさまざまな機会をとらえて募集を行った。また、新規入会者の説明会の毎週開催や、事業拡大推進員による支所地域での巡回相談や職業相談会の参加など新たな会員の獲得に努めた。

令和4年度末の登録会員数は704名で、前年度末に比べて21名の減少となった。

##### (1) 地域別会員数

(人)

地域	性別	区 分		計
		男 性	女 性	
高山		251 (10)	126(7)	377(17)
国府		61	40	101
丹生川		23(3)	6	29(3)
清見		22	8	30
荘川		21	12	33
一之宮		12(1)	7	19(1)
久々野		37(1)	10	47(1)
朝日		17	10	27
高根		8	4	12
上宝		14	15	29
合 計		466 (15)	238(7)	704(22)

( ) 内は、特別会員数で会員数に含まれている

##### (2) 年齢別会員数

(人)

年齢別	性別	区 分		計	構成比
		男 性	女 性		
60歳未満		0	0	0	0%
60～64		8	17	25	3.5%
65～69		50	29	79	11.2%
70～74		140	74	214	30.4%
75～79		143	74	217	30.9%
80歳以上		125	44	169	24.0%
合 計		466	238	704	100%

※1 平均年齢75.8歳 (男性76.3歳、女性74.9歳)

※2 最高齢 男性92歳、女性96歳

## 2. 事業の実績

公共団体、民間企業、一般家庭等の皆様から多くの就業機会をいただいた。しかし、新型コロナウイルス感染症に係る公共からの駐車場整理業務や降雪量が少なかったことにより、除雪作業が減少するなど、大変厳しい事業結果となった。

契約金額は169,226,265千円で対前年比94.5%（9,868千円）の減少となった。

### (1) 事業実績

区分	実績	備考
受注件数	3,771件	
就業実人員 ①	557人	
就業延人員 ②	61,143人日	
就業率	81.7%	① / 正会員数
受注金額	169,226,265円	対前年比94.5%
内 配分金 ③	153,371,472円	
1人当たり配分金	2,508円	③ / ②
実働会員1人当たり配分金	275,353円	③ / ①
実働会員月間就業日数	9.2日	② / ① / 月数

### (2) 公共・民間等別事業実績

区分	契約金額		前年比
	令和4年度	令和3年度	
公共事業	59,285,918円	58,421,752円	101.5%
一般企業	89,156,746円	97,901,906円	91.1%
個人・家庭	20,783,601円	22,770,679円	91.3%
合計	169,226,265円	179,094,337円	94.5%

### (3) シルバー派遣事業実績(県シ連高山市事務所)

国が示す適正就業ガイドラインに沿った事業運営を推進するため、請負(委託)契約では受注できない仕事をシルバー派遣で実施した。

受注件数は41件、契約金額は47,002千円、登録会員は206名、派遣就業延人員は8,389人日で、契約金額では、前年度比100.3%（128千円）の増加となった。

3. 総会、理事会及び各委員会等の活動状況

(1) 定時総会(5/27) 高山市民文化会館

出席会員 22 名、委任状等 499 名、計 521 名

令和 3 年度事業報告及び収支決算報告、理事 15 名の選任の件、監事 2 名の選任の件、理事長に対する権限委任の件

令和 3 年度補正予算・令和 4 年度事業計画・収支予算・令和 3 年度事故の報告

(2) 理事会

① 第 1 回理事会 (5/11)

令和 3 年度事業報告及び収支決算報告、理事 15 名の選任の件、監事 2 名の選任の件、令和 4 年度定時総会議案内容の件、被表彰者の承認、理事長に対する権限委任

② 第 2 回理事会 (5/27)

理事長、副理事長 2 名、常務理事の選定の件、理事長に対する権限委任

③ 第 3 回理事会 (10/17 決議の省略)

財産の処分の件、理事長に対する権限委任

④ 第 4 回理事会 (12/2)

令和 4 年度上半期事業収支報告、監査報告、令和 4 年度事業計画の変更及び収支補正予算(第 1 号)、理事長に対する権限委任

⑤ 第 5 回理事会 (3/23)

令和 5 年度役員賠償責任保険の件、令和 4 年度事業計画の変更及び収支補正予算 (第 2 号)、事務費規定の一部変更及び令和 5 年度事務費率の件、帳簿書類の処分の件、令和 5 年度事業計画及び収支予算、令和 5 年度定時総会の開催の件、理事長に対する権限委任

(3) 就業委員会

① 新入会員就業説明会の実施 (毎週水曜日開催)

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受講者数 (人)	24	6	8	3	6	3	8	4	4	6	4	6	82

(4) 安全委員会

① 全国安全就業強化月間 7 月

② 安全パトロールの実施

③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止による安全講習会等の中止

(5) 広報委員会

① 広報委員会

会報「こだま」校正及び発行(2 回)

(6) 監査

① 令和 3 年度下半期及び決算監査 (4/28) 事業・収支状況

② 令和 4 年度上半期監査 (11/11) 事業・会計執行状況

#### 4. 研修、講習会等の開催状況

##### (1) 高齢者活躍人材育成講習会（県シ連主催）

- ① 健康セミナー&入会説明会(8/23) 一般受講者 9名
- ② 介護予防・家事援助講習会(11/15) 一般受講者 8名
- ③ 介護施設補助体験(見学) (11/30) 一般受講者 4名
- ④ ホテル旅館業務体験(見学)(11/30) 一般受講者 1名

##### (2) おもてなし案内人 新人ガイド養成講座

- ① 新人ガイド養成講座(4/7～7/26 前期座学) 会員 6名
- ② 新人ガイド養成講座(10/1～10/7 後期校外学習) 会員 4名

#### 5. 就業分野の開拓・拡大

新型コロナウイルス感染症は落ち着きをみせたが、大変厳しい事業展開となった。事業の開拓と拡大については、引き続き発注先の事業所等を訪問、また公共事業の請負・派遣の発注についても、市長及び市各部所、各支所担当者にシルバー事業への理解と協力をお願いした。

#### 6. 安全就業の徹底

新入会員へ安全就業についての周知、受注時における職員による就業場所の安全確認、会員の就業依頼時に直接安全確認等の安全意識の啓発等を行った。また、安全委員会及び職員により現場パトロールを行い安全就業のお願いをした。

令和4年度の事故発生件数は、本人傷害事故3件（前年2件）、対人事故0件（前年0件）、対物事故が2件（前年3件）発生した。

今後もあらゆる機会をとらえて、会員の安全意識の高揚と徹底を図る。

#### 7. 適正就業の推進

就業の基本である臨時的・短期的な形態で適正就業が行われているかを検証し、請負と派遣の区別など法令遵守の徹底により請負から派遣に移行するなど、国が示す適正就業ガイドラインに沿って適正就業を推進した。

#### 8. 自主事業の実施

観光ガイド(おもてなし案内人)

コロナ禍が落ち着きを見せる中、観光客も少しずつ戻り始めた事により、ガイド依頼も昨年度より増加した。

現在ガイド人数は22名で、令和4年度の受注件数は73件で、前年度比178%(32件)の増加となった。

## 9. 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

令和4年度も引き続き、事業拡大推進員により地域の労働者不足・現役世代を支える分野への請負・派遣事業の拡大を図るため、ハローワーク主催による地域巡回職業相談会の参加、毎週水曜日にはハローワークで雇用保険受給者を対象とした就業相談会を実施した。また事業所への訪問により事業の派遣事業等の拡大に努めた。

## 10. 指定管理施設の運営事業

指定管理者として受託している3施設（高山市丹生川・国府老人いこいの家、国府町木曾垣内地区体育施設）の管理・運営を実施した。

各施設の利用状況は下記のとおりです。

国府老人いこいの家	1, 549人
丹生川老人いこいの家	361人
国府町木曾垣内地区体育施設	9, 365人

### 11. 普及啓発事業

公益社団法人としてホームページを更新し、センター事業や運営内容を掲載し、情報を公開した。

また、会報「こだま」の発行、シルバーチラシの配布、市主催の就職面談会、地域巡回相談会に参加、さらには社会福祉協議会主催の地域ボランティア活動講座にも参加し、シルバー事業の啓発、高齢者の就業相談事業を行った。

### 12. ボランティア活動

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せたため、久しぶりの活動となった。

① 手筒花火大会後、河川敷の清掃(8/10 17名)

② 剪定班等により福祉センター敷地内の植栽と花壇の管理。(9名)

### 13. 事務局の強化とセンターの健全経営について

事務局は、センター事業を円滑に運営するために、財政運営や法人管理、各事業の管理、会計処理など多岐にわたる業務を行っている。

派遣事業の推進により事務量も増大し多様化となっている中で、事務処理効率化と職員の資質の向上など事務局体制の強化を行った。

さらには、公益社団法人として、財政面での運営の適正化と法令遵守に努め、事務局機能の効率化など限られた財源を有効に活用できるよう、財務体質の健全化に努めた。

公益社団法人高山市シルバー人材センター

## 附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

## 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年同月	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	169,226,265	179,094,337	△ 9,868,072
受取配分金	153,371,472	162,999,978	△ 9,628,506
受取材料費等	5,003,227	4,813,211	190,016
受取事務費	10,851,566	11,281,148	△ 429,582
指定管理事業収益	5,558,000	5,558,000	0
指定管理事業収益	5,558,000	5,558,000	0
労働者派遣事業等受託収益	5,308,017	5,378,867	△ 70,850
労働者派遣事業等受託収益	5,308,017	5,378,867	△ 70,850
職業紹介事業受託収益	0	0	0
職業紹介事業受託収益	0	0	0
高齢者活躍人材確保育成事業受託収入	0	39,600	△ 39,600
高齢者活躍人材確保育成事業受託収入	0	39,600	△ 39,600
受取会費	1,996,000	2,054,500	△ 58,500
正会員受取会費	1,685,000	1,753,500	△ 68,500
特別会員受取会費	11,000	11,000	0
賛助会員受取会費	300,000	290,000	10,000
受取補助金等	39,329,000	39,329,000	0
受取連合交付金	19,329,000	19,329,000	0
受取高山市補助金	20,000,000	20,000,000	0
特定資産運用益	10,830	15,454	△ 4,624
特定資産受取利息	10,830	15,454	△ 4,624
雑収益	1,909,441	1,664,050	245,391
受取利息	237	237	0
雑収益	1,909,204	1,663,813	245,391
経常収益計	223,337,553	233,133,808	△ 9,796,255
(2) 経常費用			
事業費	222,140,575	230,609,853	△ 8,469,278
支払配分金	153,371,472	162,999,978	△ 9,628,506
支払材料費等	4,263,292	4,203,330	59,962
給料手当	32,594,350	32,361,781	232,569
法定福利費	4,953,271	4,937,531	15,740
退職給付費用	1,157,604	1,160,817	△ 3,213
福利厚生費	73,996	85,684	△ 11,688
会議費	4,868	0	4,868
旅費交通費	273,320	48,870	224,450
通信運搬費	2,613,422	2,615,246	△ 1,824
減価償却費	0	135,600	△ 135,600
消耗品費	1,619,208	1,373,748	245,460
修繕費	693,991	458,420	235,571
印刷製本費	392,920	342,100	50,820

## 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年同月	増減
光熱水費	2,370,943	1,991,201	379,742
賃借料	3,383,499	3,394,050	△ 10,551
保険料	2,162,940	2,229,350	△ 66,410
諸謝金	779,106	605,895	173,211
租税公課	3,466,050	3,716,050	△ 250,000
委託費	7,482,040	7,295,716	186,324
貸倒損失	0	44,861	△ 44,861
指定管理修繕費精算	213,996	0	213,996
雑費	270,287	609,625	△ 339,338
管理費	3,765,672	3,639,520	126,152
役員報酬	265,000	255,000	10,000
給料手当	1,161,820	1,163,077	△ 1,257
法定福利費	202,730	204,981	△ 2,251
退職給付費用	59,196	58,953	243
会議費	8,113	15,207	△ 7,094
旅費交通費	121,929	50,579	71,350
通信運搬費	64,800	77,750	△ 12,950
消耗品費	154,717	169,356	△ 14,639
印刷製本費	12,210	5,104	7,106
光熱水料費	83,359	71,260	12,099
賃借料	100,331	98,399	1,932
保険料	240,960	244,680	△ 3,720
租税公課	1,000	1,000	0
支払負担金	366,800	361,600	5,200
委託費	834,752	840,744	△ 5,992
雑費	87,955	21,830	66,125
経常費用計	225,906,247	234,249,373	△ 8,343,126
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,568,694	△ 1,115,565	△ 1,453,129
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,568,694	△ 1,115,565	△ 1,453,129
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
車両運搬具除去損	1		
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 2,568,695	△ 1,115,565	△ 1,453,130
一般正味財産期首残高	42,714,320	43,829,885	△ 1,115,565
一般正味財産期末残高	40,145,625	42,714,320	△ 2,568,695
II 正味財産期末残高	40,145,625	42,714,320	△ 2,568,695



## 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

科目	当年度	前年度	増減
(単位：円)			
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	205,710	173,460	32,250
普通預金	19,994,359	21,053,612	△ 1,059,253
未収金	10,125,478	14,133,139	△ 4,007,661
仮払金	81,204	77,540	3,664
立替金	0	0	0
前払金	453,300	187,410	265,890
流動資産合計	30,860,051	35,625,161	△ 4,765,110
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
減価償却引当資産	7,721,795	7,721,795	0
経営調整資金積立資産	14,183,158	14,183,158	0
特定資産合計	21,904,953	21,904,953	0
(2) その他固定資産			
車輛運搬具	4	5	△ 1
什器備品	3	3	0
一括償却資産	0	0	0
電話加入権	233,501	233,501	0
その他固定資産合計	233,508	233,509	△ 1
固定資産合計	22,138,461	22,138,462	△ 1
資産合計	52,998,512	57,763,623	△ 4,765,111
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	11,173,824	13,315,392	△ 2,141,568
前受金	1,679,063	1,728,514	△ 49,451
預り金	0	5,397	△ 5,397
流動負債合計	12,852,887	15,049,303	△ 2,196,416
負債合計	12,852,887	15,049,303	△ 2,196,416
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 一般正味財産	40,145,625	42,714,320	△ 2,568,695
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 21,904,953 )	( 21,904,953 )	( 0 )
正味財産合計	40,145,625	42,714,320	△ 2,568,695
負債及び正味財産合計	52,998,512	57,763,623	△ 4,765,111

# 財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
現金・預貯金	現金	現金	シルバー人材センター事業の運転資金として	27,000
			指定管理事業の運転資金として	178,710
		普通預金	シルバー人材センター事業の運転資金として	6,686,982
		高山信用金庫日枝支店		
		普通預金	指定管理事業の運転資金として	6,116,237
		高山信用金庫日枝支店		
		普通預金	シルバー人材センター事業の運転資金として	4,799,465
		飛騨信用組合山王支店		
	普通貯金	シルバー人材センター事業の運転資金として	702,267	
	飛騨農業協同組合千島支店			
	普通貯金	シルバー人材センター事業の運転資金として	1,605,991	
	飛騨農業協同組合高山支店			
	普通預金	法人管理の運転資金として	83,417	
	高山信用金庫日枝支店			
	未収金	高山市役所 ほか	シルバー人材センター事業に供する契約金額 ほか	9,631,379
		公社) 県シ連	派遣事業手数料	282,071
		損害保険ジャパン㈱	シルバー保険精算分	189,110
労働基準監督署		雇用保険料	22,918	
仮払金	松本徽章工業㈱	シルバー帽子	62,940	
	高山年金事務所	社会保険料ほか	18,264	
前払金	自動車リサイクル促進センター	リサイクル料	17,340	
	㈱全福サービス	令和5年度役員賠償責任保険料・個人情報漏えい保険料	170,580	
	飛騨農業協同組合	令和5年度自動車任意保険料	265,380	
<b>流動資産合計</b>				<b>30,860,051</b>
<b>(固定資産)</b>				
特定資産	減価償却引当資産	定期貯金	資産取得資金として管理されている預金	7,721,795
		飛騨農業協同組合千島支店		
	経営調整資金積立資産	定期預金	シルバー人材センター事業の運営資金として管理されている預金	14,183,158
		高山信用金庫日枝支店		
その他の固定資産	車両運搬具	軽バン	シルバー人材センター事業に使用している	1
		飛騨480い2752		
		軽バン	シルバー人材センター事業に使用している	1
		飛騨50え8238		
		軽バン	シルバー人材センター事業に使用している	1
	飛騨480あ9700			
	普通車バン	シルバー人材センター事業に使用している	1	
	飛騨400さ7327			

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	什器備品	耐火金庫	シルバー人材センター事業に使用している	1
		除雪機	シルバー人材センター事業に使用している	1
		パソコン	シルバー人材センター事業に使用している	1
	電話加入権	4台	シルバー人材センター事業に使用している	233,501
固定資産合計				22,138,461
資産合計				52,998,512
(流動負債)				
	未払金	配分金	シルバー人材センター事業に供する配分金の未払金額	9,525,748
		材料費等	シルバー人材センター事業に供する材料費	237,273
		給与・謝金・委託費等	連絡員委託費・臨時職員謝金	272,413
		通信運搬費・賃借料等	電話料等	646,738
		その他必要経費	OA機器借上料・保守料等	
		労働基準監督署	労働保険料	28,015
		高山年金事務所	社会保険料等	346,750
		全国厚生年金基金	企業年金掛け金	59,400
	役員報酬等	役員報酬等	57,487	
	前受金	会費	令和5年度正会員・特別会員会費 令和5年度賛助会費	1,560,500 100,000
発注者			18,563	
流動負債合計				12,852,887
負債合計				12,852,887
正味財産				40,145,625

## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により実施している。

(4) 引当金の計上方法

退職給付引当金は、期末退職給付の要支給額に相当する金額から中小企業退職金共済給付額を控除した金額を計上している。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

認定法第5条第12号の規定により作成しない。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
減価償却引当資産	7,721,795	0	0	7,721,795
経営調整資金積立	14,183,158	0	0	14,183,158
合計	21,904,953	0	0	21,904,953

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
減価償却引当資産	7,721,795	(0)	(7,721,795)	(0)
経営調整資金積立	14,183,158	(0)	(14,183,158)	(0)
合計	21,904,953	(0)	(21,904,953)	(0)

6. 担保に供している資産

該当事項なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具	5,236,427	5,236,423	4
什器備品	762,630	762,627	3
合計	5,999,057	5,999,050	7

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当事項なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く)等の偶発債務  
該当事項なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当事項なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
高年齢者就業機会確保事業費交付金	国	0	7,329,000	7,329,000	0	—
雇用開発支援事業費等交付金	国	0	12,000,000	12,000,000	0	—
運営補助金	市	0	20,000,000	20,000,000	0	—
合計		0	39,329,000	39,329,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当事項なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
該当事項なし

14. 関連該当者との取引の内訳  
該当事項なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
認定法第5条第12号の規定により作成しない

16. 重要な後発事象  
該当事項なし

17. その他  
該当事項なし

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産の明細及び特定資産の明細は、「4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載のとおりであるため省略している。

2. 引当金明細

該当なし